

項目	検査内容			補修状況	検査結果	
境界明示	許可時の境界線の維持状況				適・否	
	損傷箇所の有無				無・有	
警戒標	掲示場所及び掲示状況				適・否	
	掲示内容 (高圧ガス製造所、緊急時の連絡先、ガス名、貯蔵量、立入禁止、火気厳禁等)				適・否	
	毒性ガスの識別措置・危険標識				有・無	
設備距離	区分 法定 距離	液化石油ガス (法定距離)	一般高圧ガス (法定距離)			設備距離等の確保状況
			可燃性毒性	酸素	その他	
	一 種	L1 = m L2 = m L3 = m	L1 = m	L2 = m	L3 = m	イ敷地内で確保 ロ敷地外に及ぶ
二 種	L4 = m L5 = m L6 = m	L2 = m	L3 = m	L4 = m	イ敷地内で確保 ロ敷地外に及ぶ	
置場距離	一 種	01 = m 03 = m				イ敷地内で確保 ロ敷地外に及ぶ
	二 種	02 = m 04 = m				イ敷地内で確保 ロ敷地外に及ぶ
移動式 製造設備 距離	一 種	15m			イ1種、2種距離敷地内 で確保 ロ2種距離のみ敷地内 で確保 ハ2種距離敷地外に及 ぶ	
	二 種	10m				
用途地域の 区分	イ 第一種住居専用地域 ニ 近隣商業地域 ト 工業地域	ロ 第二種住居専用地域 ホ 商業地域 チ 工業専用地域	ハ 住居地域 ヘ 準工業地域 リ その他			
火気制限	火気制限区域内の火気の使用の有無				無・有	

項目	検査内容	補修状況	検査結果
	非常用照明設備（定置式 基、懐中電灯 個）		適・否
	通報設備（メガホン・ハンドマイク・構内放送・その他）		適・否
	電気設備関係の防爆性		適・否
受入機構	ローリー停止位置の適否及び明示		適・否
	受入中の旨を明示する警戒標		適・否
	ローリーアースの接続箇所		適・否
	車止の有無並びに使用状況		適・否
	受入ホースの置き方及び外面損傷		適・否
	ローディングアームの維持状況		適・否
	カップリングの磨耗測定（25A mm、50A mm）		適・否
貯槽関係	貯槽本体	腐食状況及び塗装状況	適・否
		基礎の破損、防液堤の破損	適・否
		ガス名表示	適・否
		貯槽間距離	適・否
	貯槽付属品の腐食・損傷等の状況	元弁	適・否
		安全弁、安全弁の元弁及び放出管	適・否
		緊急遮断弁（弁座漏えい検査を含む）	適・否
		逆止弁	適・否
		液面計	適・否
		液面計の過充てん防止装置又は最高液面表示	適・否
		支柱の温度の上昇を防止するための措置	適・否
		破裂板	適・否
		計装機器類	適・否
		真空度測定（Pa）	適・否
		断熱材	適・否
		附属冷凍機	適・否

※判定基準：カップリングの磨耗度測定・25A 33mm以下、50A 60mm以下(JLPA)  
真空度測定・26.6Pa (0.2Torr) 以下

項 目	検 査 内 容	補修状況	検査結果
貯槽関係	地下埋設貯槽 貯槽室内のガス検知		適・否
	砂の乾燥状況（集水柵底面からの水位 cm・集水柵無し）		適・否
	強制換気機能		適・否
ポンプ及びコンプレッサー	腐食状況及び塗装状況		適・否
	異常振動及び異常音の有無		無・有
	リリース弁の腐食・損傷等の状況		適・否
	安全弁、元弁及び放出管の状況		適・否
	その他の安全装置類の腐食・損傷等の状況		適・否
	動力用電気設備の防爆性能		適・否
	機械室等のガス滞留		適・否
その他		適・否	
充てん設備	充てん機		適・否
	ディスペンサー		適・否
	充てん機、ディスペンサーの充てんホース、弁		適・否
蒸発器	腐食状況		適・否
	安全弁、元弁及び放出管の状況		適・否
	着霜状況		適・否
配 管	腐食、塗装及び破損等の状況		適・否
	異常振動の有無		無・有
	配管支持状況		適・否
	ガス名及び流れ方向の表示		適・否
	液封鎖の防止状況		適・否
	二重配管の設置状況		適・否
	フレキシブルホースの設置状況		適・否
	配管ピットの滞留防止		適・否
	安全弁、元弁及び放出管の状況		適・否
	ストレーナー、逆止弁の機能		適・否
	バルブの開閉方向及び開閉状態の明示		適・否

項目	検査内容	補修状況	検査結果
保安電力	発電装置の機能		適・否
	バッテリーの機能		適・否
	緊急遮断用動力源 ( )		適・否
静電気防止	ボンディング		適・否
	導通試験		適・否
感震器	遮断弁との連動等 (感震器のメーカー名 )		適・否
防火設備等	散水設備	貯槽の散水設備 (設計散水量 $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		タンクローリーの停車位置の散水設備 ( $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		容器置場 (プラットホーム等) の散水設備 ( $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		処理設備等の散水設備 ( $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		残ガス回収設備 (ヘッダー部分) の散水設備 ( $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		サージタンク及びガスホルダーの散水設備 ( $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		反応器の散水設備 ( $l / \text{min } m^2$ )	適・否
		末端水圧 (設計 MP a) (実際 MP a)	適・否
		貯水槽の貯水量 (必要量 t) (保有量 t)	適・否
		貯水槽のいっ水防止	適・否
	エンジン又はモーターポンプの能力 (種類/ディーゼル、ガソリン、電動)	適・否	
	放水栓	タンクローリーの停車位置	適・否
		酸素の容器置場 (プラットホーム等)	適・否
サージタンク及びガスホルダー		適・否	
容器置場	清掃、整理状況 (作業に不要なものの有無)		適・否
	充てん容器、残ガス容器区分		適・否
	ガス種類ごとの区分		適・否
	転倒防止措置		適・否
	照明設備		適・否
	置場外放置容器の有無		適・否

項 目	検 査 内 容	補修状況	検査結果	
その他の設備	サージタンク		適・否	
	ガスホルダー		適・否	
	カードル		適・否	
	反応器		適・否	
	蓄圧器 ( )		適・否	
	残ガス回収設備		適・否	
	毒性ガス除害装置の機能		適・否	
	保護具の管理状況		適・否	
	除害剤の保有量		適・否	
	防液堤		適・否	
	各種制御装置類		適・否	
	その他		適・否	
消費設備	火気制限区域内の火気使用の有無		無・有	
	滞留防止措置		適・否	
	配管、バルブ類の流れ方向、開閉表示		適・否	
容器検査所	受入場 容器	火気 8 m以上 (液化石油ガスの場合)	適・否	
		可燃物 2 m以上 (液化石油ガスの場合)	適・否	
	残ガス回収装置	容器転倒台		適・否
		圧縮機等		適・否
		専用貯槽等		適・否
		残ガス燃焼装置		適・否
		残ガス真空引き装置		適・否
		油分離槽 (排水溜槽)		適・否
		除害設備等		適・否
	容器再検査 設備	1次外観検査設備		適・否
		バルブ取外し設備		適・否
		洗浄設備		適・否

項目		検査内容	補修状況	検査結果
容器 再 検 査 所	容器 再 検 査 設 備	耐圧試験設備		適・否
		乾燥設備		適・否
		内部照明設備		適・否
		さび落とし設備		適・否
		2次外観検査設備		適・否
		質量検査設備		適・否
		防錆塗装設備		適・否
		バルブ取付設備		適・否
		気密試験設備		適・否
		断熱性能試験設備		適・否
	その 他 の 設 備	附属品性能試験設備		適・否
		電気設備		適・否
		刻印器具		適・否
		底面間隔測定器具		適・否
		真空引き設備		適・否
		排水設備		適・否
		ガス漏えい検知器		適・否

消火 設 備	消火 器	設置場所	能力単位	本数	記 事	検査結果	
							適・否
							適・否
							適・否
							適・否
							適・否
	その他					適・否	

高圧ガス設備の気密試験					
設備名称	常用圧力 M P a	試験圧力 M P a	保持時間 (分)	漏えい箇所	判定
受入設備					適・否
貯槽及び付属品					適・否
					適・否
					適・否
ポンプ コンプレッサー					適・否
充てん設備					適・否
蒸発器					適・否
配管					適・否
					適・否
					適・否
残ガス回収設備					適・否
消費設備					適・否
					適・否
					適・否
その他					適・否
					適・否
					適・否

漏えい箇所	補修方法	判定
		適・否
		適・否
		適・否
		適・否
		適・否





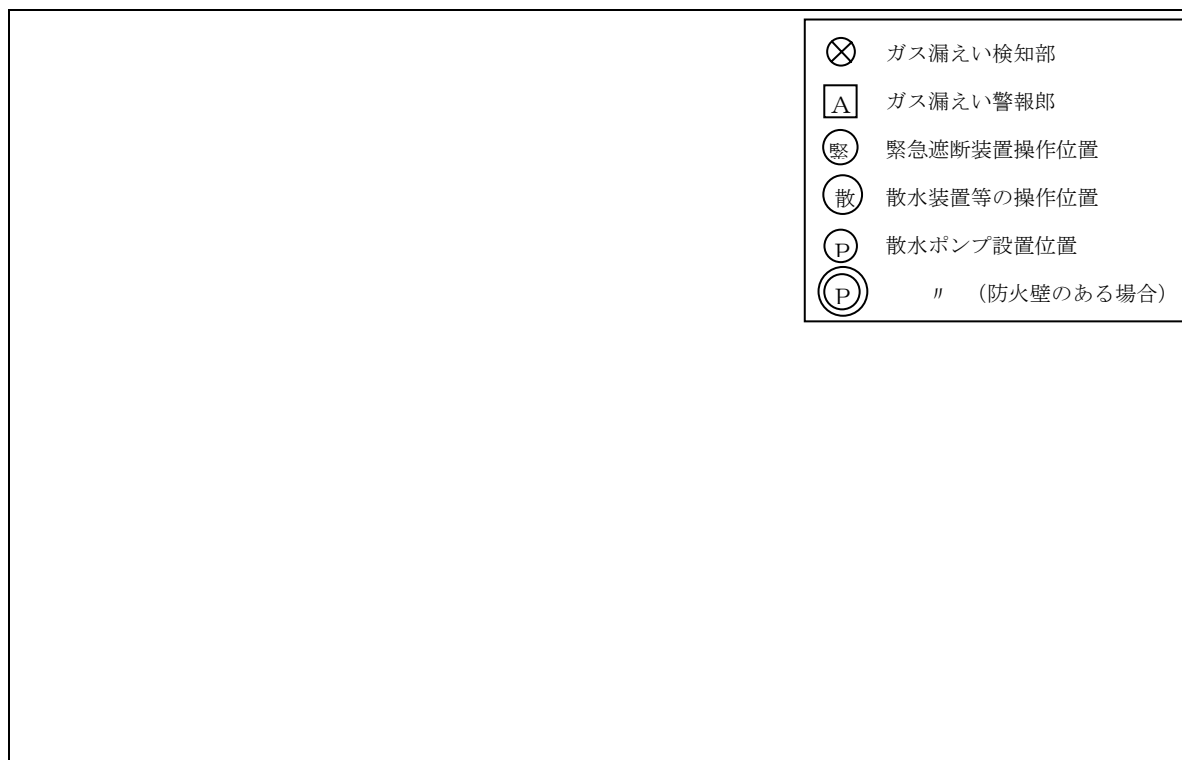
緊急遮断装置操作位置

項目 操作位置	貯蔵設備か らの距離	遮断 時間	判定	不適合の場 合の処置	判定基準
		秒	適・否		・常駐場所及び受入位置付近であり、貯蔵設備か ら5m以上離れた位置にそれぞれ1か所以上あるこ と（例示基準） ・遮断時間は10秒以内であること（8B以上の ボールバルブについては15秒以内であること） （JLPA）
		秒			
		秒			
		秒			
		秒			
		秒			

散水装置等の操作位置

項目 操作位置	対象設備か らの距離	散水まで の時間	判定	不適合の場 合の処置	判定基準
		秒	適・否		・常駐場所及び原則として対象設備から15m以上離 れた位置にそれぞれ1か所以上あること （例示基準） ・原則として1分以内に散水できること ・放水圧力が規定値以上であること（ただし放水時 間30分以上確保できること（例示基準））
		秒			
		秒			
		秒			
		秒			
		秒			

製造保安設備設置概況図



適宜設備距離、置場距離を記入すること。

別紙添付でも可。